

Sept. 11, 07 第1回公開定期会合
特別資料

「持続可能な開発のための日本評議会 (JCSD)
Japan Council for Sustainable Development」

過去の JCSD 活動実績概要

(1995年6月—2006年3月)

1) 設立準備前段階

- (1) 1995年6月18 - 19日 (フィリピン PCSD・アースカウンシル共催) アジア・太平洋 NCSD 地域会議参加
(日本からの参加—政治家1名、GEA関係者3名、アジア銀行総裁1名、環境庁2名、(財)2名、NGO4名、メディア3名、黒坂計16名)
- (2) 報告書『Waving the Fabric of Asia's Future:持続可能な開発のための国民評議会』日本語版作成 (100部印刷)

2) 1996年6月設立—1997年3月31日

主要活動

- (1) JCSD 設立発起人会会合及び最初—4回の評議会定期会合開催
- (2) 最初の Japan Report 作成作業+「リオ+5プロセス」資料日本語作成
- (3) 12月12 - 14日 (マニラ) アジア太平洋 NCSD 第2回会合出席
(黒坂含め2名)
- (4) 1997年3月13 - 19日 (リオデジャネイロ) 「リオ+5フォーラム」
参加 (日本からの参加—政治家1名、企業—2名、環境庁2名、OECD—2名、環境事業団1名、日本財団2名、(財)1名、NGO2名メディア3名、黒坂計16名) NGO (ウタリ協会) 1名

3) 1997年4月1日—1998年3月31日

主要活動

- (1) 10回 (第5回—第14回) 評議会定期会合開催
- (2) 「リオ+5フォーラム」資料の日本語版作成 - 特に、『持続可能な開発のための国民評議会 (NCSD) —持続可能な発展を実現する—持続可能な発展への効果的なメカニズムとしての NCSD のビジョンと具体的手段』は、それまでに設立されていた世界各国の NCSD の経験を背景にして作成された NCSD の仕組みの概要を描いたものである。
- (3) 12月に日本で開催した「気候変動枠組み条約 COP3 京都会議」に向けての活動
 - ① 10月18日 (東京都庁内国際会議場) 国際シンポジウム「地球温暖化—京

都会議に向けて」開催（海外ゲスト：米国、韓国、フィリッピン、バングラ
デッシュ、国内パネリスト：環境庁、企業（東京電力）、地方自治体（北九州）、
NGO）

② 12月2日アジア太平洋 NCSD 関係者懇談会（京都）（京都 COP3 に参加の関係
者数十名参加）

（4）2月（バンコク）アジア太平洋 NCSD 事務局関係者会合参加（黒坂）

4) 1998年4月1日—1999年3月31日

主要活動

（1）9回（第15回—第23回）評議会定期会合開催：気候変動問題等のテーマの他
に、地球温暖化防止推進センター準備に関する JCSD の関わり、持続可能な社会の未
来ビジョン作成の提案のために「循環型社会」に関する資料収集と

（2）1999年1月各セクターの具体的な取り組み事例の報告提案・事例報告

（3）9月（東京）フィリッピン PCSD 議長、韓国 Kang 氏「2000年国連会合に向けて」の
会合

（4）2月初め（マニラ）アジア太平洋 NCSD 事務局会合黒坂参加、Dr. Kang の依頼でソ
ウルを訪問し、韓国関係者（大統領補佐官、環境庁事務次官、企業役員他10名程度）
に JCSD 他 NCSD に関して説明（黒坂）。

5) 1999年4月1日—2000年3月31日

主要活動

（1）10回（第24回 - 第33回）評議会定期会合開催：循環型社会づくりに向けて
の各省や各団体の取り組み事例報告、

（2）1999年4月（NY）UNCSD サイドイベント NCSD 会合に参加（黒坂）

1999年5月（デトロイト）米国 PCSD タウンミーティング参加（安原・石共
同議長）

（3）2000年1月（東京）アジア太平洋 NCSD ワークショップ開催（海外：フィンラ
ンド NCSD, ポーランド、チェコ、メキシコ各1名、フィリッピン2名、モンゴル
2名、中国4名、タイ2名、インドネシア2名、マレーシア2名、計18名）

（4）3種の報告書作成『アジア太平洋 NCSD ワークショップ記録（世界 NCSD 現状資
料付）』、『持続可能な開発のための組織及びネットワーク形成に関する研究調
査』、『1999年 JCSD 活動記録：循環型社会への取り組みの現状』

6) 2000年4月1日—2001年3月31日

主要活動

（1）6回（第34回—第39回）評議会定期会合開催

（2）UNCSD 第9回（2001年4月）に向けての政府各省意見交換会、国別報告書作成
作業への参加

（3）9月中国北京での NGO 会合出席（黒坂）、11月韓国 PCSD 初代議長 Dr. Kang 来日時に
おける会合（2名の共同議長他数名—黒坂）

（4）2001年1月柏市タウンミーティング開催

7) 2001年4月1日—2002年3月31日

主要活動

- (1) 8回(第40回—第47回)評議会定期活動開催
- (2) WSSD 準備会合(11月カンボジア)に向けてのJapan Report 作成のためのWGによる作業、JapanReport(第1版)作成・カンボジア準備会合にて提出
- (3) 韓国PCSDとの連携に関する打合せ(ソウル、北京出張黒坂)

8) 2002年4月1日—2003年3月31日

主要活動

- (1) 6回(第48回—第53回)評議会定期会合開催
- (2) WSSD 時期配布『Japan Report (持続可能な未来への確かな歩み) “Sixty-Five Promising Practices Towards a Sustainable Development”』作成
- (3) 7月7 - 10日韓国PCSD主催ワークショップ参加(共同議長1名、環境省2名、NGO3名、黒坂)
- (4) WSSDへの参加、韓国PCSD・JCSD共催アジアNCSDワークショップ準備・開催作業、ベルギー政府主催NCSD会合参加、Japan Report 各会場で配布。
- (5) WSSD フォローアップ(Japan Report(日本語版)修正作業、JCSDHP作成、JCSD3期6年間の活動終了のための作業)

9) 2003年4月1日—2004年3月31日

主要活動

- (1) 9回移行期会合開催:
- (2) 「JCSDの今後」検討WGインフォーマル・フォーマル会合開催、

10) 2004年4月1日—2005年3月31日

主要活動

- (1) 3回移行期会合開催
- (2) 「JCSDの今後案:存在意義、理念、組織構成、活動計画」作成作業
- (3) 新体制JCSD試運営開始—2回の定期会合開催
- (4) 「Japan Report ビジョン創り」に向けてのWG会合開催+ビジョン創り呼びかけ編作成作業
- (5) 韓国PCSD主催ワークショップ準備のための打合せ—北京、ソウル出張
- (6) JCSD website 開設・更新(委託)

11) 2005年4月—2006年3月31日

主要活動

- (1) 2回移行期会合開催
- (2) 「A Call to Participate in Creating Visions to Ensure Sustainable Development for Human Beings and the Global Environment and Ecosystem - UNCSD, April 2005, JCSD-Japan Report Team」
国連CSD サイドイベント会場にて配布
- (3) 騒動を経て、新JCSD創りの議論開始